

【緊急】訪問看護師調査【メ切 3 月 28 日】**◆アンケートご回答について◆**

- ・このアンケートでは、訪問看護師の皆さまに、利用者の急変時の即時対応に関する内容および特定行為についてお伺いします。アンケートの結果は、訪問看護の未来に向けた検討資料として 内閣府の特区事業および規制緩和案件等で用いることを想定しています。
- ・所要時間は 10-30 分ほどですので、どうか多くの訪問看護師の皆さまのお声をお聞かせください。
- ・選択式の設問は、それぞれ最も当てはまると思われるものをお選びください。
- ・調査結果は統計的な処理をして公表されるため、個人の情報が公開されることは一切ありません。
- ・成果を報告する際には、個人が特定されないように倫理的に十分な配慮をいたします。データは慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室内で管理をいたします。
- ・アンケートへの参加は自由です、アンケートの提出をもって、調査の協力に同意されたとみなします。
- ・このアンケートについてのご質問は、当該調査事務局までメールでお問い合わせください。

E-mail: healthcaresurvey07@gmail.com

研究代表者

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 山岸暁美(地域/在宅看護専門看護師・保健医療学博士)

まず、あなたの訪問看護事業所について教えてください**1.事業所の規模について(常勤換算)、あてはまるものをお選びください。**

- 5 人以下
- 6~9 人
- 10~15 人
- 16~19 人
- 20 人以上

2-1).事業所が所在している都道府県をお選びください。

- 1.北海道
- 2.青森県
- 3.岩手県
- 4.宮城県
- 5.秋田県
- 6.山形県
- 7.福島県
- 8.茨城県
- 9.栃木県
- 10.群馬県

11. 埼玉県
12. 千葉県
13. 東京都
14. 神奈川県
15. 新潟県
16. 富山県
17. 石川県
18. 福井県
19. 山梨県
20. 長野県
21. 岐阜県
22. 静岡県
23. 愛知県
24. 三重県
25. 滋賀県
26. 京都府
27. 大阪府
28. 兵庫県
29. 奈良県
30. 和歌山県
31. 鳥取県
32. 島根県
33. 岡山県
34. 広島県
35. 山口県
36. 徳島県
37. 香川県
38. 愛媛県
39. 高知県
40. 福岡県
41. 佐賀県
42. 長崎県
43. 熊本県
44. 大分県
45. 宮崎県
46. 鹿児島県
47. 沖縄県

2-2). 事業所が所在している市区町村名をご記入ください。

記述式回答

3.あなたの地域の状況について、もっとも当てはまるものを1つお選びください。

- 過疎地（人口の著しい減少に伴って地域社会における活力が低下し、生産機能及び生活環境の整備等が他の地域に比較して低位にある地域）
- 人口減少地域（人口が減少しつつあり、あらゆる面で人不足を実感する地域）
- 都市部・市街地（人口増加・維持している地域、また多少の人口減少があっても、地域の機能が維持される人口が担保されている地域）

4.あなたの地域の在宅医療提供資源の状況として、最も当てはまるものをお選びください。

- 在宅医療を担う機関（医療機関・訪問看護・薬局等）は、十分存在する
- 在宅医療を担う機関（医療機関・訪問看護・薬局等）は、何とかやりくりできるくらいには存在する
- 在宅医療を担う機関（医療機関・訪問看護・薬局等）は、足りない（量的にニーズに応じられない）
- 在宅医療を担う機関（医療機関・訪問看護・薬局等）は、圧倒的に足りない（医療過疎）

I.利用者の病状の急変に対応する際に、手元に薬剤や輸液がないことで即時対応できなかったケースについて

1.利用者の病状の急変に対応する際に、手元に薬剤や輸液がないことで即時対応できなかったケースを経験したことがありますか。

- ある
→（「ある」と回答された方は以下にご回答ください）に移動
- ない
→（II.医療機関（主治医）との連携について）に移動

「ある」と回答された方は以下にご回答ください

2.利用者の病状の急変により、手元に薬剤や輸液がないことで即時対応できなかったケースは、だいたい月にどのくらいの頻度でありますか？

- 年に数例程度
- 1例/2か月程度
- 1例/月程度
- 2例程度/月（2週に1回ペース）
- 4例程度/月（週に1回ペース）
- 8例程度/月（週に2回ペース）
- 8例/月以上

2-1).それは、具体的にどのようなケースですか。詳細をご記載ください。

該当するケースがない場合は、「なし」と回答してください。

(1)発熱について具体的なケースを1例教えてください。

記述式回答

(2)脱水について具体的なケースを1例教えてください。

記述式回答

(3)疼痛について具体的なケースを1例教えてください。

記述式回答

(4)褥瘡について具体的なケースを1例教えてください。

記述式回答

(5)褥瘡以外の皮膚トラブルについて具体的なケースを1例教えてください。

記述式回答

(6)その他あれば具体的なケースを1例教えてください。

記述式回答

2-2).多いケースを以下より3つ選んでください

- 発熱
- 脱水
- 疼痛
- 褥瘡
- 褥瘡以外の皮膚トラブル
- その他に挙げたもの

3. 訪問看護師の手元によくある患者の急変症状に対応する薬剤等が手元にあると良いと思いますか？

- とてもそう思う
- そう思う
- まあそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない

4. 訪問看護師の手元にあると良いと考える薬剤はどんなものがありますか？

- 解熱鎮痛剤
- 輸液(体液維持剤)
- 経口補水剤・栄養剤
- 褥瘡の被膜材・塗布薬
- 褥瘡以外の皮膚トラブルに対する軟膏類
- 便秘薬
- ターミナルコンフォートセット(ダイアアップ坐剤4mg、アンヒバ坐剤 200mg×2、ナウゼリン坐剤等)
- 制吐剤
- 抗生剤
- 止痢剤
- 抗けいれん剤
- その他

II. 医療機関（主治医）との連携について

1. 利用者の病状の急変により、薬剤や輸液が必要な場合の対応と頻度について、以下より回答ください。

(1) 主治医が往診で対応する場合、その頻度を教えてください。

- 常に（毎回）
- おおよそ（10回のうち8回程度）
- しばしば（10回のうち6回程度）
- ときどき（10回のうち4回程度）
- まれに（10回のうち2回程度）
- そのようなことはない

(2) 主治医から対応指示を受け、薬剤・輸液を医療機関に取りに行く場合、その頻度を教えてください。

- 常に（毎回）
- おおよそ（10回のうち8回程度）
- しばしば（10回のうち6回程度）
- ときどき（10回のうち4回程度）
- まれに（10回のうち2回程度）
- そのようなことはない

(3) 主治医が薬局に処方指示を出し、薬局・薬剤師が薬・輸液を届ける場合、その頻度を教えてください。

- 常に（毎回）
- おおよそ（10回のうち8回程度）
- しばしば（10回のうち6回程度）
- ときどき（10回のうち4回程度）
- まれに（10回のうち2回程度）
- そのようなことはない

(4) 主治医と連絡が取れない場合、その頻度を教えてください。

- 常に（毎回）
- おおよそ（10回のうち8回程度）
- しばしば（10回のうち6回程度）
- ときどき（10回のうち4回程度）
- まれに（10回のうち2回程度）
- そのようなことはない

Ⅲ.調剤薬局との連携について

1.あなたが所属する訪問看護事業所の近く、または訪問エリアに 24 時間対応可能な調剤薬局はありますか

- ある
→(「ある」と回答された方は以下にご回答ください)に移動
- ない
→(Ⅳ.特定行為やその研修についてお尋ねします)に移動

「ある」とされた方は以下にご回答ください

(1)調剤薬局までの距離

- 往復 15 分以内
- 往復 30 分以内
- 往復1時間以内
- 往復1時間以上

(2)その薬局は、緊急で薬剤等が必要になった時に、対応をしてくれますか。(平日・営業時間内)

- 迅速に対応してくれる
- その日のうちには対応してくれる
- 連絡はつくが対応は翌日以降
- 連絡はつくが対応は数日待たなければならない
- 連絡さえつかない

(3)その薬局は、緊急で薬剤等が必要になった時に、対応をしてくれますか。(夜間、週末、祝祭日など営業時間以外)

- 迅速に対応してくれる
- その日のうちには対応してくれる
- 連絡はつくが対応は翌日以降
- 連絡はつくが対応は数日待たなければならない
- 連絡さえつかない

Ⅳ.特定行為やその研修についてお尋ねします

1.在宅・慢性期領域パッケージの4行為は、在宅看護現場において必要性が高く、この領域の特定行為として妥当であると思いますか。

- 必要性が高く妥当だと思う
→(2.在宅・慢性期領域の看護において必要とされるが、現行法下・制度下ではできない行為がありますか。具体的にご回答ください。)へ移動
- よく分からない
→(よく分からない、必要性・妥当性が高くないとされた方は以下のご回答ください)へ移動
- 必要性も妥当性も高くない
→(よく分からない、必要性・妥当性が高くないとされた方は以下のご回答ください)へ移動

よく分からない、必要性・妥当性が高くないとされた方は以下のご回答ください

1) 必要性や妥当性を感じない行為にチェックしてください。

- 気管カニューレの交換
- 胃ろうカテーテル・若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
- 褥瘡又は慢性創傷の治癒における血流のない壊死組織の除去
- 脱水症状に対する輸液による補正

(1) 気管カニューレの交換と回答した場合、その理由を教えてください。

記述式回答

(2) 胃ろうカテーテル・若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換と回答した場合、その理由を教えてください。

記述式回答

(3) 褥瘡又は慢性創傷の治癒における血流のない壊死組織の除去と回答した場合、その理由を教えてください。

記述式回答

(4) 脱水症状に対する輸液による補正と回答した場合、その理由を教えてください。

記述式回答

2. 在宅・慢性期領域の看護において必要とされるが、現行法下・制度下ではできない行為がありますか。具体的にご回答ください。

記述式回答

3. あなたは特定行為研修(在宅・慢性期領域パッケージ)を修了していますか。

- 修了している
→ (修了している方は以下にご回答ください) へ移動
- 研修中
→ (研修中・検討中の方は以下にご回答ください) へ移動
- 検討中
→ (研修中・検討中の方は以下にご回答ください) へ移動
- 研修を受けたいが諦めている
→ (研修を受けたいが諦めている、研修を受けるつもりはないとされた方は以下にご回答ください) へ移動
- 研修を受けるつもりはない
→ (研修を受けたいが諦めている、研修を受けるつもりはないとされた方は以下にご回答ください) へ移動

修了している方は以下にご回答ください

1)研修を修了した特定行為を日常的に活用できていますか

- できている
→(その他、ご意見がございましたら、ぜひお願いします。)へ移動
- 現状では、できていない
→((1)「現状では、できていない」とされた方はその理由として当てはまるものにチェックください。(複数回答可))へ移動

(1)「現状では、できていない」とされた方はその理由として当てはまるものにチェックください。
(複数回答可)

- 自機関の理解や協力を得られない
- 医師の理解や協力を得られない
- 必要な時に薬剤や必要物品が手元にない
- その他…

(2)自機関の理解や協力を得られない具体的な理由を教えてください。

記述式回答

(3)医師の理解や協力を得られない具体的な理由を教えてください。

記述式回答

(4)必要な時に薬剤や必要物品が手元にない具体的な理由を教えてください。

記述式回答

(5)その他具体的な理由を教えてください。

記述式回答

2)研修してきたことがもっと活かせるようにするには、どのようなことが必要だと思いますか。

記述式回答

研修中・検討中の方は以下にご回答ください

1)研修しているまたは検討している特定行為を日常的に活用できそうですか。

- できると思う
→(その他、ご意見がございましたら、ぜひお願いします。)へ移動
- 現状では、できないと思う
→((1)「現状では、できていない」とされた方はその理由として当てはまるものにチェックください。(複数回答可))へ移動

(1)「現状では、できていない」とされた方はその理由として当てはまるものにチェックください。
(複数回答可)

- 自機関の理解や協力を得られない
- 医師の理解や協力を得られない

- 必要な時に薬剤や必要物品が手元にない
- その他…

(2) 自機関の理解や協力を得られない具体的な理由を教えてください。

記述式回答

(3) 医師の理解や協力を得られない具体的な理由を教えてください。

記述式回答

(4) 必要な時に薬剤や必要物品が手元にない具体的な理由を教えてください。

記述式回答

(5) その他具体的な理由を教えてください。

記述式回答

2) 研修してきたことがもっと活かせるようにするには、どのようなことが必要だと思いますか。

記述式回答

研修を受けたいが諦めている、研修を受けるつもりはないとされた方は以下にご回答ください

理由で当てはまるものにチェックを入れてください。(複数回答可)

- 長期間ステーションを空けられない
- 研修費用が高すぎる
- 研修を受けても、研修してきたことが活かせる環境が整っていない
- 在宅・慢性期パッケージの4行為のニーズは高くなく、研修を受ける必要性自体を感じない
- そもそも関心がない
- その他…

その他、ご意見がございましたら、ぜひお願いします。

記述式回答

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。